防衛の未来

2024年のサイバーセキュリティ動向と洞察

2024年に向けてAIの脅威が影を落とし、既存の脅威と新たな脅威の両方に対抗するための積極的なサイバーセキュリティ戦略がますます重要になっています。Keeper Securityは、独立系調査機関に依頼して、サイバーセキュリティの地平線上に何があるのかについて、世界中の800人以上のITセキュリティリーダーを対象に調査を実施しました。

急増する攻撃ベクトル

1. フィッシング
2. マルウェア
3. ランサムウェア
4. パスワード攻撃
5. サービス拒否（DoS）

95%

のITリーダーが、サイバー攻撃はかつてないほど巧妙になっていると回答しました。

> AIのような新たなテクノロジーがサイバー脅威の次の波に拍車をかける中、もし適切に制御されなければ、サイバーリスクを根本的に増大させることになるイノベーションを、私たちが実行に移せるかどうかに大きなパラドックスがあります。今日、私たちが自由に使えるサイバーセキュリティツールがあれば、新たな脅威を軽減するための武器を手に入れることができるでしょう。
>
> **ダレン・グッチョーネ**
> CEO兼共同創業者
> Keeper Security

最も深刻な新たな攻撃ベクトル

1. AIを活用した攻撃
2. ディープフェイク技術
3. サプライチェーン攻撃
4. クラウドジャッキング
5.]モノのインターネット（IoT）攻撃

進化する脅威は、ITリーダーにとって最優先事項であり続けなければならない絶え間ない適応を要求します。一方、特権アクセス管理は、ネットワークアクセスを制御・監視することで、組織の重要な資産を保護し、防御を強化するとともに、攻撃時の潜在的な損害を最小限に抑えます。これらのソリューションを統合することで、リスクを最小化するレイヤード・セキュリティアプローチが構築され、全体的なサイバーセキュリティ耐性が強化されます。